

CASBEE 広島 2016年版 L広島東新築計画		■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)						
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.35		-	3.2
1 音環境				4.0	0.15		-	4.0
1.1 室内騒音レベル		主に天井に吸音材を採用		4.0	0.67		-	
1.2 遮音				-	-		-	
1 開口部遮音性能				-	-		-	
2 界壁遮音性能				-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-	
1.3 吸音		天井:ロックウール化粧板(ラウンジ等)、吸音アルミスパンドレル(受		4.0	0.33		-	
2 温熱環境				3.1	0.35		-	3.1
2.1 室温制御				3.3	0.50		-	
1 室温				3.0	0.44		-	
2 外皮性能				3.0	0.20		-	
3 ゾーン別制御性		空調ゾーニングにより冷暖の選択が可能		4.0	0.35		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.51		-	
1 昼光率				-	-		-	
2 方位別開口				-	-		-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策				-	-		-	
1 昼光制御				-	-		-	
3.3 照度				-	-		-	
3.4 照明制御				3.0	0.49		-	
4 空気質環境				3.1	0.25		-	3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-	
4.2 換気				3.5	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.50		-	
2 自然換気性能				-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮		汚染源の無い方向とし、6m以上排気とは距離を確保		4.0	0.50		-	
4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				-	-		-	
2 喫煙の制御				3.0	1.00		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.6
1 機能性				4.3	0.40		-	4.3
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40		-	
1 広さ・収納性				-	-		-	
2 高度情報通信設備対応				-	-		4.0	
3 バリアフリー計画		バリアフリー基準を考慮して努力している		4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場天井高4.2m		5.0	0.33		3.0	
2 リフレッシュスペース		ラウンジ等のレストスペースが売場の4%以上		5.0	0.33		-	
3 内装計画		照明と内装の一体的なデザインや、内観パースによるインテリアの		5.0	0.33		-	
1.3 維持管理				4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		内外装に防汚性の高い仕上を採用		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		防汚性の高い建材や外部露出部の防錆対策等の実施		4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30		-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				-	-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		カーテンウォールや花崗岩を使用		5.0	0.25		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数20年以上の内装材を使用(壁:天然石本磨き等)		5.0	0.13		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.13		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	0.25		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.25		-	
2.4 信頼性				1.7	0.20		-	
1 空調・換気設備				1.0	0.25		-	
2 給排水・衛生設備				1.0	0.25		-	
3 電気設備				3.0	0.25		-	
4 機械・配管支持方法				-	-		-	
5 通信・情報設備				2.0	0.25		-	

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	4.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.25	-	-	
2 給排水管の更新性			4.0	0.25	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.13	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.13	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.25	-	-	
6 バックアップスペースの確保			-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BPI _m] ≤ 0.80	5.0	0.14	-	5.0
2 自然エネルギー利用			トップライトの採用	4.0	0.14	-	4.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.95	2.2	0.72	-	2.2
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水型機器を採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			5.0	0.20	-	-	5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			指定化学物質を含まない建材が4つ以上有り	5.0	1.00	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			高効率機器、自然換気等により省CO2に配慮	3.1	0.33	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			5.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			ガイドラインチェックリストによる	4.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	